

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 准教授または助教 1名
2. 所属 生物資源科学部 アグリビジネス学科 アグリビジネスマネジメントグループ
3. 専門分野 流通・マーケティング分野
アグリビジネスマネジメントグループは、農業・食料関連ビジネスの将来像を提案できる人材の育成、ならびに新たなビジネス構築のための研究を進めています。そのため、流通・マーケティング分野では、食や農の流通・マーケティングに関する研究経歴を有し、次世代型アグリビジネス創成のための流通システムやマーケティング戦略に関する研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) マーケティング論 (准教授の場合)、アグリビジネス概論 (分担)、日本農業の社会経済論 (分担)、農産物流通論 (分担)、コンピュータリテラシー (分担)、プロジェクト演習・実験・実習 (分担)、プロジェクト卒業研究 (分担)、食の6次産業化プロデューサー資格講座等 (大学院) 食と農のマネジメント (分担)、園芸生産技術論 (分担) (いずれも准教授の場合)
5. 応募資格 (1) 准教授は博士の学位を有し研究上の業績を有すること
助教は博士の学位を有すること、または採用予定日までに取得見込みであること
(2) 当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和2年4月1日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
(3) 勤務 裁量労働制
(4) 任期 5年の任期制 (再任回数に制限はありません)
(5) 定年 67歳
8. 応募書類 (1) 履歴書 (本学所定の様式1による。*)
(2) 研究業績書 (本学所定の様式2による。*) 学術論文は、①学術論文 (査読付き)、②国際会議発表論文 (査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、准教授は主要なもの5編、助教は3編に○をつけてください。
(3) 主要論文 准教授は5編 (コピー可)、助教は3編 (コピー可)
(4) これまでの研究、教育及び社会活動 (地域貢献を含む。) の概要 (1000 字程度)
(5) 教育に対する抱負 (1000 字程度)
(6) 研究・地域貢献に対する抱負 (1000 字程度)
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注) *印: 履歴書 (様式1) 及び研究業績書 (様式2) については、ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>) をご参照ください。
9. 応募締め切り 令和元年8月30日 (金) 必着
10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2) 第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※ 面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先 〒010-0444 秋田県南秋田郡大潟村南2-2
秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科 流通・マーケティング分野
教員選考委員長 鶴川洋樹 TEL: 0185-45-2015 (ダイヤルイン) E-mail: ukawa@akita-pu.ac.jp
※ 封筒の表に「流通・マーケティング分野教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(女性活躍推進行動計画: <https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/joseikatsuyaku.pdf>)

(子育て支援等行動計画: <https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/kosodate.pdf>)

今回の公募で求める人材像

アグリビジネス学科では、教育・研究・地域貢献に熱意を持って取り組める人材を求めます。各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

食や農の流通・マーケティングに関する知識を有し、流通・マーケティングの基礎理論の講義ができる人材、地域農業や食料関連ビジネスへの就職を目指す学生の教育に意欲のある人材を求めます。

[研究]

食や農の流通・マーケティングに関する研究経歴を有し、次世代型アグリビジネス創成のための流通システムやマーケティング戦略の構築に関する研究に意欲的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

食や農の新たなビジネス推進のために必要な企画・提案などの地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

アグリビジネス学科 大講座制グループ構成

基本方針 アグリビジネス学科では、3つの研究グループ体制で、先進的な農業技術開発やアグリビジネスに関する研究を推進するとともに、それらを提案する能力のある人材を育成するための教育を行う。

アグリビジネス学講座

●アグリテクノロジー グループ

農作物と園芸作物の栽培・育種分野ならびに家畜の繁殖・飼養分野において、地域の自然と資源の特徴を踏まえた研究をフィールド教育研究センターや実験室などで行い、実用的かつ持続可能な生産技術を開発する。

農作物生産分野：農作物（イネ、ムギ類、ダイズ）の安定・多収および持続可能な生産を目指し、作物の栽培技術や雑草の制御技術の開発研究に取り組むとともに、イネの突然変異系統の作出・解析による遺伝資源の開発を行う。

園芸分野：野菜（ヤマノイモ、トマト、イチゴ等）の生理生態的特徴を活用した増収技術、リンゴの省力・軽労生産技術、花き（オーニソガラム属）の効率的な繁殖・成長制御技術の開発を行う。また、農業と福祉の連携のあり方についても研究する。

畜産資源利用分野：日本短角種を主体とした資源循環型畜産、肉用牛の新規増殖技術、肉用牛の生産性および肉質向上技術、地域産未利用飼料資源の探索とその生理的機能性の解明について研究を進め、新たな食肉生産体系を創出を目指す。

●ルーラルエンジニアリング グループ

地域環境水文学、農業水文学、農地防災保全学、農業機械学による農業の高度化・体質強化を支える農業生産基盤の整備に関する研究を行う。

先進的技術による流域管理、持続的かつ良好な農地・農村環境の形成および活用、農業水利施設の防災・減災および長寿命化・保全管理、ICT活用による農業機械の高度化・自動化等の研究を行う。

●アグリビジネスマネジメント グループ

経営、流通、政策・経済、社会の分野から、次世代型アグリビジネス創成に求められる地域農業ビジネスや食と農を結びつける地域ビジネスの将来像を提案する

持続的農業・農村と地域農業マネジメント、グローバリゼーションと地域農業、経営環境の変化と経営方式、経営者育成と技能継承、新規参入とキャリア形成、食と農を結びつける新たな地域ビジネスの構造と展開、農業の持続的発展の条件等についての実証分析、地域主体の形成のあり方や支援策の提案等の研究を行う。

フィールド教育研究センター

●フィールド農学 グループ

農業を核とした地域及び地域産業の活性化に関する理論や技術を修得し、実社会の要請に応える農業振興や生物関連産業等に携わる人材の養成

- ・農業機械・作業管理：自立・無人での新しい機械化作業技術
- ・作物生産：有機農法での雑草抑制（水田ロボット除草機）、大豆畑への帰化雑草の侵入実態の解明と適応戦略）
- ・果樹園芸：キイチゴ属植物の遺伝資源の収集、評価及び利用、キイチゴ（ラズベリー）の栽培体系の確立
- ・家畜資源利用：生体のストレス緩和から食肉呈味品質の改善にまで及ぶ機能成分・特殊飼料の研究・開発、ニワトリにおけるビタミン様作用因子リボ酸の代謝調節機能とその実用的用途